

1. 支援する分野

スポーツ産業

2. 支援する地域及び核となる事業者

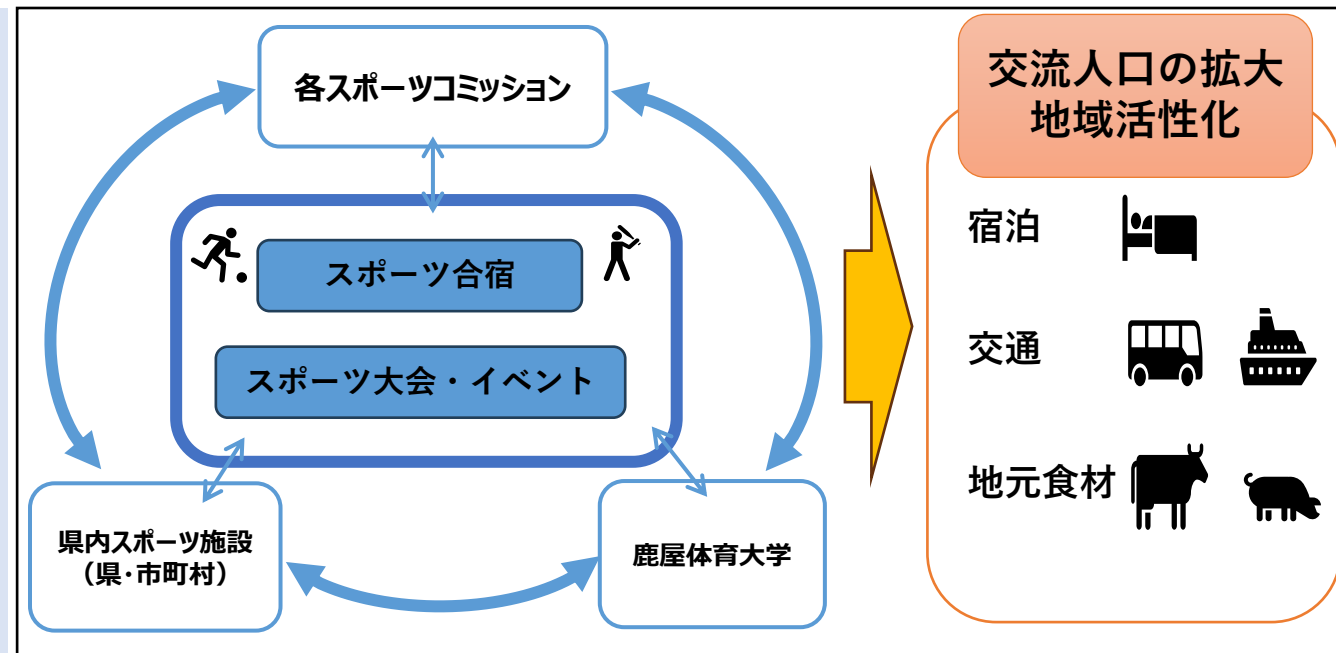
地域：県内全域

事業者：市町のスポーツコミッション

(地元宿泊事業者、飲食事業者、商工会等)

県、市町村

鹿屋体育大学



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・ 地域スポーツコミッション認定数は、都道府県別で人口あたり全国 1 位
- ・ 温暖な気候、安心・安全でおいしい食材、豊富な温泉資源など、スポーツ合宿・大会等に適した環境にあり、アジアの主要都市に近接し、直行便があるなどアクセスが良好
- ・ 多くのプロスポーツチームや海外の代表チーム、日本代表選手の受け入れ実績がある
- ・ 薩摩おいどんリーグは、カテゴリーを越えた日本最大規模の交流戦として野球関係者から高い評価を受けており、県全体にも多くの経済波及効果をもたらしている
- ・ 屋内スポーツ競技の中核となるスポーツ・コンベンションセンターの整備に向けた取組が進んでいる
- ・ 一方、誘致活動や受入対応の広域連携、既存施設・設備の老朽化や移動手段の確保、予約システムの一元化など、受入環境の更なる充実化が課題

（2）目指すべき目標

- ・ 付加価値増加額（10年後）：5億円
- ・ KGIを達成するためのKPI設定
 - ① スポーツ合宿延べ宿泊者数：182千人
 - ② おいどんリーグ参加者数：3千人
 - ③ 大福JAC利用者数：99千人

4. 勝ち筋

【受入体制の構築】

- ・ 県内の地域スポーツコミッション職員の専門性（スポーツビジネス、スポーツツーリズムのノウハウ）の向上、更なる連携による効果的な誘致活動の実施
- ・ これまでの受入実績を生かした誘致活動の強化及び鹿屋体育大学等と連携した支援・受入体制の更なる充実
- ・ スポーツ合宿や大会開催するための宿泊業、飲食業、交通業等の専門性・利便性等の向上
- ・ スポーツ合宿や大会の参加者・観客が地域の観光や地域との交流を行う機会の創出
- ・ 新たな国際大会の開催やプロスポーツチームの合宿誘致等により、競技者に加え、海外ファンを含めた観客等の誘客促進

【環境の整備】

- ・ スポーツ施設や宿泊施設、交通、食事等の周辺環境の充実による合宿地・大会開催地としての魅力向上
- ・ 薩摩おいどんリーグの開催に伴う経済波及効果を更に高める取組（参加市町村、会場の増）の実施

【スポーツ施設の整備】

- ・ スポーツ・コンベンションセンターの整備に向けた取組の促進及び既存施設の機能向上等によるスポーツ環境の充実

5. 政策手段

【受入体制の構築】

- ・ 県、市町、コミッション、宿泊施設等が一体となり、各競技団体や大学等のニーズを踏まえた誘致活動の実施や、関係者の招へい事業を実施する
- ・ 「かごしまスポーツキャンプ対策県連絡会」を通じ、情報共有や課題解決のための講習会を実施するとともに、市町や関係施設の連携強化を図る

【環境の整備】

- ・ スポーツ施設や宿泊施設情報を集約したウェブサイト（キャンプガイド）の機能の充実と利便性の更なる向上を図る

【スポーツ施設の整備】

- ・ スポーツ・コンベンションセンター整備に向けた取組を進める
- ・ 大福JACをはじめとした県有スポーツ施設・設備の整備を図る